

# スライドを使った プレゼンテーション

## ■ 今回のポイント

- ① スライドの効用
- ② スライドの作り方
- ③ スライドを使ったプレゼンテーション

## 【解説】

### ① スライドの効用

パソコンを使ったスライドでは、画像を映し出すだけではなく、さまざまな機能を使って資料を出すことができます。

- 文字の大きさ・色・フォント
- 文字や画像の動き
- 使う写真の選び方やレイアウト
- スライドの構成を考える

話すだけではなく、文字や画像で目に訴えるのは効果的です。

- 聞き手の目を集める
- 進行のガイドになる
- 相手の理解が深まる

### ② スライドの作り方

今回は「東京のおすすめスポット紹介」というテーマで、生徒たちにスライドを作ってもらいます。発表する時間は一分以内。スライドには、紹介したいスポットの魅力を一と言で表したキャッチコピーを入れる、というのがルールです。見やすいスライドのポイントは「簡潔であること」。例えば、スライドに映す言葉は文章にするのではなくキーワードだけにすることです。その場所が魅力的に見える写真と、その特徴を一と言にまとめたキャッチコピーがあれば、見てすぐに伝わるスライドを作ることができます。

では、コピーの作り方について、具体例を使って説明しましょう。

対象……新宿駅  
魅力……世界でいちばん人が乗り降りする  
ジャンル……ターミナル

これらを合わせると次のようになります。

新宿駅  
世界でいちばん夢を乗せる  
ターミナル

文字だけのスライドを作る場合も「簡潔にすること」がポイントです。話す項目を絞って、スライド一枚に入れる内容をできるだけ少なくします。伝えたい要素をただ並べても、聞き手はすぐに忘れてしまいます。

### ③スライドを使ったプレゼンテーション

伝えたい内容を絞り込んだスライドを使用することで、聞き手の共感を呼ぶことができます。今回のような「おすすめスポットの紹介」であれば、「自分も行ってみたい」「使ってみたい」「食べてみたい」と思ってもらえたら良いと思います。そのために、具体例やエピソードを盛り込んで、聞き手を引きつける工夫が求められます。